

平成 30 年 6 月 28 日現在

機関番号：32632

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2017

課題番号：25370230

研究課題名(和文) 西鶴以降の浮世草子の総合的研究

研究課題名(英文) Overall Study of Ukiyo-zoshi after Saikaku

研究代表者

佐伯 孝弘 (Saeki, Takahiro)

清泉女子大学・文学部・教授

研究者番号：40255956

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,600,000円

研究成果の概要(和文)：浮世草子研究会や西鶴研究会の会員等の協力の下、『浮世草子大事典』(笠間書院刊)の刊行を果たした。同事典は、浮世草子というジャンルの全530余作を立項し梗概を載せ、浮世草子に関する基本事項(主な作者や書肆、他ジャンルとの関係)を解説。各作から資料価値のある挿絵を抽出し、描写内容に解説・索引を付し、近世風俗の絵引きとしての機能を持たせた。各人が、浮世草子と様々な事象(同時期の実事件や、他ジャンルの文芸)との関連につき考察を進め、複数の学術雑誌に論文を発表した。その他、浮世草子研究会で注釈を付けつつ精読した『儻偶(てれん)用心記』(月尋堂(げつじんどう)作、未翻刻)の注釈成果を近々公刊すべく準備中。

研究成果の概要(英文)：With members of the Ukiyo-zoshi and Saikaku Research Groups, we published the Comprehensive Dictionary of Ukiyo-zoshi (Kasama Shoin). It includes more than 530 works in the ukiyo-zoshi genre. Each selection includes an overview of the work and basic information about main authors, bookstores, and relation to other genres. Illustrations with explanations and an index are provided, so the dictionary functions as a picture dictionary about modern customs. We examined relationships between each work and phenomena such as events of the same period and literature in different genres. Our results have been published in academic journals. Notes on Tenren Yojin Ki, by Getujindo;, will be published soon.

研究分野：日本文学

キーワード：浮世草子 儻偶用心記 月尋堂 井原西鶴 江島其磧 西沢一風 夜食時分 俳諧

#### 1. 研究開始当初の背景

(1) 西鶴は明治以降膨大な研究上の蓄積がある。しかし、西鶴以外の浮世草子作品(約100年に亘る期間に500数十作品が刊行される)については、長谷川強氏の『浮世草子考証年表』(青裳堂書店)・『浮世草子の研究』(汲古書院)以外総括的研究はなく、個別の作者・作品についても、研究が立ち後れている。

(2) 西鶴作品以外の浮世草子は、未翻刻作品も多く、注釈も未整備である。

(3) 近世小説の中で、仮名草子・読本・洒落本・黄表紙については事典や解題、話型索引等が出されているが、浮世草子については未だ存在しない。

#### 2. 研究の目的

(1) 西鶴以外は研究の立ち後れている、浮世草子研究の基盤を構築する。具体的には事典や研究文献目録を作成・刊行すると共に、未翻刻の浮世草子作品の翻刻・注釈作業を進める。

(2) 他ジャンルの研究者や一般の方達へ、少しでも浮世草子の魅力を伝え関心を促し、且つジャンルを超えた学際的研究を進める

#### 3. 研究の方法

(1) 『好色一代男』(天和2年・1682年刊)以降凡そ100年に亘り全530余作品程が刊行された浮世草子前作を網羅する『浮世草子事典』を、笠間書店より刊行する。

(2) 浮世草子と他ジャンル、実事件、巷説等との関連につき調査・考察する。

(3) 毎月開催する浮世草子研究会例会で精読した作品につき、注釈の成果を公表する。

(4) 重要作品でありながら未翻刻のままの作品の本文の、翻刻をする。

(5) 『西鶴と浮世草子 研究文献目録』を完成させ、詳細な索引機能を持たせた上で、webで公開する。

#### 4. 研究成果

上記「研究の目的」欄の番号毎に記す。

(1) 浮世草子研究会や西鶴研究会の会員等の協力の下、『浮世草子大事典』(笠間書院刊)の刊行を果たした。同事典は、浮世草子というジャンルの全530余作を立項し梗概を載せ、浮世草子に関する基本事項(主な作者や書肆、他ジャンルとの関係)を解説。各作から資料価値のある挿絵を抽出し、描写内容に解説・索引を付し、近世風俗の絵引きとしての機能を持たせた。

(2) 研究メンバー各人が、浮世草子と様々な事象(同時期の実事件や、他ジャンルの文芸)との関連につき考察を進め、複数の学術雑誌に論文を発表した。

(3)(4) 浮世草子研究会で注釈を付けつつ精読した『儻偶(てれん)用心記』(月尋堂(げつじんどう)作、未翻刻)の注釈を整備し終え、近々公刊の予定である。

(5) 『西鶴・浮世草子研究文献目録』は、上記『浮世草子大事典』作成に足掛け8年掛かった影響で、作業が一時期中断していたが、詳細な検索機能を持たせWeb上で公開すべく、作業を再開した。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[研究論文](計 28件)

佐伯孝弘

「浮世草子と京・大坂 西鶴・其蹟を中心に」(『日本文学』62巻10号、平成25年10月)pp2~17

「『怪談御伽桜』の破戒僧」(『國學院雑誌』114巻11号、平成25年11月)pp506~524

「浮世草子の描く 悪 その趣向化と複層化」(白百合女子大学 言語・文学研究センター編『アウリオン叢書15 文学と悪』平成27年6月、弘学社)pp135~149

「豆男物の浮世草子 浅草や業平伝説との関係など」(一柳廣孝監修、飯倉義之編『怪異の時空2 怪異を魅せる』(平成28年12月、青弓社)pp64~89

「死なせぬ復讐譚 『万の文反古』巻三の三「代筆は浮世の闇」を巡って」(清泉女子大学「日本文学と怪異」研究会編『日韓怪異論 死と救済の物語を読み解く』平成29年5月、笠間書院)pp66~79

「近世に怪談が流行ったのはなぜか」(佐伯・上原作和・松田浩・佐谷眞木人編『古典文学の常識を疑う』平成29年5月、勉誠出版)pp204~207

「日本人の靈魂観 近世怪異譚理解の前提として」(『日本学』(韓国 檀国大学校)52輯、平成29年9月)pp27~52

「夜食時分の浮世草子 笑話性を中心に」(佐伯他編『東アジアの古典文学における笑話』平成29年10月、新葉館出版)pp87~110

篠原進

「八わりましの名をあげて 惟中という陰画」(『青山語文』44号、平成26年3月、pp65~86

「『武道伝来記』の 不好容儀」(『青山語文』45号、平成27年3月)pp28~48

「習作期の其蹟 二つの大織冠物」(『青山語文』46号、平成28年3月)pp65~88

「『大矢数』の熱源 あとがきにかえて」(『ことばの魔術師西鶴 矢数俳諧再考』平成28年11月、ひつじ書房)pp329~373

「凡俗の人・団水」(『青山語文』47号、平成29年3月)pp119~141

特別寄稿「『男色大鑑』のショーケース」(染谷智幸・畑中千晶編『男色を描く』平成29年9月、勉誠出版)pp8~20

「表参道殺人事件」(西鶴研究会編『RE:STORY 井原西鶴』平成30年1月、笠

間書院) pp91~108

「『目さむる夏の青み哉』 団水 2」(『青山語文』48号、平成30年3月) pp1~33

#### 倉員(長谷川)正江

「『伽婢子』と軍書の影響関係をめぐって 『後太平記評判』『続太平記狸首編』を中心に西鶴に及ぶ」(日下力監修、鈴木彰・三澤裕子編『いくさと物語の中世』平成27年8月、汲古書院) pp579~600

「近世文学における教訓性とは」(佐伯・上原作和・松田浩・佐谷眞木人編『古典文学の常識を疑う』平成29年5月、勉誠出版) pp220-223

「『中村雑記』に見る奇談・怪談 お礼はがし・応声虫・狐憑き・猫又・化物屋敷」『近世文芸研究と評論』93号、平成29年11月) pp1~12

#### 杉本和寛

「禁断義から禁短気へ 『風流三国志』と『傾城禁短気』構想の背景としての宝永の宗論騒動」(『東京藝術大学音楽学部紀要』43号、平成30年3月) pp1~20

#### 井上和人

「『風流今平家』の副題箋と枕本型軍記」(『関東学院大学文学部紀要』129号、平成26年1月) pp1~18

「おもかげ・うつす・やつし 『風流今平家』副題箋による一考察」(『関東学院大学文学部紀要』131号、平成26年12月) pp1~18

「浪にゆるるるうつぼ舟 『風流今平家』「今俊寛涙の足ずり」小考」(『関東学院大学人文学会紀要』132号、平成27年7月) pp1~19

「『関東名残の袂』考 その演劇的趣向一斑」(『関東学院大学人文学会紀要』133号、平成27年12月) pp1~18

「『新色五巻書』という結節点 西鶴から一風、そして近松へ」(『関東学院大学人文学会紀要』136号、平成29年7月) pp163~178

#### 水谷隆之

「元禄の西鶴の俳諧 当流と意味」(『国語と国文学』92巻6号、平成27年6月) pp36~51

「中世・近世の『伊勢物語』 - 「梓弓」を例に -」(小峯和明監修、宮腰直人編『日本文学の展望を拓く・第四巻 文学史の時空』平成29年11月、笠間書院) pp.54-59

「『好色一代男』巻四の二「形見の水櫛」考 - 『伊勢物語』古注釈との関係 -」(鈴木健一・杉田昌彦・田中康二・西田正宏・山下久夫編『江戸の学問と文藝世界』平成30年2月、森話社) pp91~109

〔学会発表〕(計 10件)

#### 佐伯孝弘

「西鶴の書簡体小説 手紙の「虚」と「実」」東京大学国語国文学会シンポジウム「手紙」平成25年4月20日(於:東京大学本郷キャンパス)

「日本の怪談における 死と救済 近世前期小説を中心に」高麗大学校民族文化研究院シンポジウム「怨恨と呪い、そして和東アジアの冤鬼/怨霊」平成26年8月28日(於:韓国 高麗大学校)

「死なせぬ復讐譚 『万の文反古』巻三の三「代筆は浮世の闇」を巡って」清泉女子大学人文科学研究所・高麗大学校民族文化研究院共催公開シンポジウム「文学における 死と救済 東アジアの怪異の視点から」平成27年5月16日、(於:清泉女子大学)

「江島其磧の時代物考」日本女子大学文学部日本文学科・日本女子大学大学院文学研究科日本文学専攻共催シンポジウム「江島其磧の再発見」平成27年9月15日(於:日本女子大学目白キャンパス)

#### 篠原進

「八わりましの名をあげて」俳文学会東京例会・西鶴研究会・浮世草子研究会合同シンポジウム、平成25年12月21日(於:青山学院大学)

#### 倉員(長谷川)正江

「宝暦13年刊『朝鮮年代記』に見る朝鮮増」第109回「書物・出版と社会変容」研究会、平成28年11月5日(於:一橋大学佐野書院)

#### 水谷隆之

「西鶴晩年の俳諧について」立教大学日本文学会、平成25年7月6日(於:立教大学池袋キャンパス)

「日本近世小説における商人像の形成と展開」(韓国中国小説学会大会、平成27年6月16日(於:韓国 高麗大学校))

「俳諧と浮世草子の関係性 西鶴作品を中心に」(韓国外国語大学校日本文化研究所国際シンポジウム「日本文学の研究と教育」平成27年10月31日(於:韓国外国語大学校))

「中世・近世の『伊勢物語』受容 絵画と古注釈」(Tokugawa Meeting、平成27年11月27日(於:フランクフルト大学))

〔図書〕(計 6件)

佐伯孝弘・篠原進・倉員(長谷川)正江『浮世草子大事典』(長谷川強氏監修、佐伯・篠原・倉員・江本裕・杉本好伸・中嶋隆・神谷勝広・藤原英城の共編、平成29年10月、笠間書院)総頁数1010

佐伯孝弘

(共編) 清泉女子大学「日本文学と怪異」研究會編『日韓怪異論 死と救済の物語を読み解く』(平成 29 年 5 月、笠間書院) 総頁数 196

佐伯・上原作和・松田浩・佐谷眞木人編『古典文学の常識を疑う』(平成 29 年 5 月、勉誠出版) 総頁数 229

(共著)『東アジアの古典文学における笑話』(平成 29 年 10 月、新葉館出版) 総頁数 251

#### 篠原進

篠原・中嶋隆編『ことばの魔術師西鶴 矢数俳諧再考』平成 28 年 11 月、ひつじ書房) 総頁数 406

#### 倉員(長谷川)正江

(共著)『NEXT 教科書シリーズ 日本古典文学』(近藤健史編、平成 27 年 3 月、弘文堂)「第 7 章 近世(一) 近松と西鶴の文学読む」pp133~152、「解題」pp230~231

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

#### 佐伯孝弘

「嘶本・談義本」「夜食時分」「林義端」「けいせい色三味線」「けいせい折居鶴」「好色赤烏帽子」「好色四季咄」「好色智恵袋」「世間子息気質」「武道色八景」「息子浮世狂」の 11 項目(長谷川強氏監修、共編『浮世草子大事典』平成 29 年 10 月、笠間書院) 総頁数 22

#### 篠原進

書評「富士昭雄『西鶴と仮名草子』」(『国語と国文学』90 巻 10 号、平成 26 年 10 月) pp72~76

「八文字屋の代々」「江島其磧」「未練」「大

雅舎其鳳」「永井堂亀友」「浅草拾遺物語」「浮世栄花一代男」「風流日本莊子」「陳扮漢」の 9 項目(長谷川強氏監修、共編『浮世草子大事典』平成 29 年 10 月、笠間書院) 総頁数 19

#### 倉員(長谷川)正江

「幕府の出版統制と浮世草子」「錦文流」「けいせい請状」「魁對盃」「義経倭軍談」「好色川念仏」「宇津山子蝶物語」「玉櫛笥」「遣放三番続」「好色酒呑童子」「好色染下地」「好色俗むらさき」「今川一睡記」「十二小町囃裳」「色の染衣」「正月揃」「昔女化粧桜」「男色今鑑」「庭訓染匂車」「貧人太平記」「風流連三味線」「宝永忠信物語」「当流曾我高名松」「當世誰が身の上」「女男色遊」「裏甲」「俄仙人戯言日記」「諸芸獨自慢」の 28 項目(長谷川強氏監修、共編『浮世草子大事典』平成 29 年 10 月、笠間書院) 総頁数 56

#### 杉本和寛

「好色かんたむの枕」「好色まつばやし」「傾城武道桜」「傾城播磨石」「風流三国志」「儻偶用心記」「好色閨魔歌舞記(役者小夜衣)」「手代袖算盤」「世間手代気質」「太平百物語」の 10 項目(長谷川強氏監修、共編『浮世草子大事典』平成 29 年 10 月、笠間書院) 総頁数 16

#### 井上和人

「西沢一風」「新色五巻書」「好色一もと薄」「御前義経記」「けいせい伽羅三味線」「今源氏空船」「女侠梨花形」「風流源平浮世武寿子」「実話東雲烏」「関東名残農袂」の 10 項目(長谷川強氏監修、共編『浮世草子大事典』平成 29 年 10 月、笠間書院) 総頁数 20 頁

#### 水谷隆之

「北条団水」「好色破邪頭正」「色道大鼓」「傾城銭車」「八棟大嶋台」「一夜船」「日本新永代蔵」「本朝智恵鑑」「吾妻男仙傳枕」の 9 項目(長谷川強氏監修、共編『浮世草子大事典』平成 29 年 10 月、笠間書院) 総頁数 16

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

佐伯孝弘 (SAEKI TAKAHIRO)  
清泉女子大学 文学部 教授  
研究者番号：40255956

##### (2) 研究分担者

篠原進 (SINOHARA SUSUMU)  
青山学院大学 文学部 教授  
研究者番号：80133271

長谷川(倉員)正江

(HASEGAWA (KURAKAZU) MASAE)

日本大学 海洋資源科学部 教授  
研究者番号：7 0 3 0 7 1 8 7

井上和人 (INOUE KAZUHIRO)  
関東学院大学 国際文化学部 教授  
研究者番号：3 0 6 1 3 9 7 1

杉本和寛 (SUGIMOTO KAZUHIRO)  
東京芸術大学 音楽学部 教授  
研究者番号：4 0 2 8 2 5 4 5

水谷隆之 (MIZUTANI TAKAYUKI)  
立教大学 文学部 准教授  
研究者番号：6 0 4 5 4 5 0 0

(3)連携研究者

( )

研究者番号：

(4)研究協力者

( )